

「2008 中国・日本・韓国キールボート親善レガッタ」報告

大会プロテスト委員会

委員 柴沼克己

さる 6 月 26 日(木)～29 日(日)に中国・日照市*にある国立水上スポーツ訓練基地(マリーナ)と同沖合にて開催された見出し大会について以下の通り報告します。

(リッシャウ/日照市:本年オリンピック・セーリング競技がが開催されるチンタオ/青島市から南西約 140Km(山東半島南端)に位置し、100 kmの海岸線を持つ人口約 283 万人の都市で 2 年前に国際 470 級の世界選手権大会が開催された)

記

1、日本チーム

児玉萬平 JSAF 常務理事を団長、植松眞 JSAF 評議員をチームリーダーとして、エスメラルダ、きねきね、のふーぞの 3 チームが日本代表として参加した(別表参照)。

2、日 程

25 日(水) チーム登録、艇抽選

26 日(木) プラクティスレース 歓迎宴

27 日(金) 第 1・2 レース 開会式

28 日(土) 第 3・4 レース(微風のため中止)

29 日(日) 第 3・4 レース 表彰式・閉会式

3、使用艇

チャーター艇としてフライングタイガー10m クラス(全長 10m / 略して ft10)が 10 艇用意され、中国・日本・韓国 3 カ国に 4・3・3 艇が各国チームに割り当てられた。艇によるばらつきは大きく、大会主催者側に事前の艇整備を含め各チームに公平になるような配慮・姿勢が欲しかった。

チャーター艇以外の一般参加艇としては、韓国から 45 フィートレース艇を含む 2 艇、日本からは鹿児島から 1 艇(艇名「さつま」とチンタオから回航して参加した青島日本人会チーム艇が 1 艇、地元中国から 22 艇の合計 26 艇の参加があった。これら 26 艇は、HKPN(香港パフォーマンスナンバー)を用いてのハンディキャップレースとして行われた。

4、レース運営

海上のレース運営に携わったほとんどのメンバーが 8 月にチンタオで開催されるオリンピックの運営スタッフで大きな問題はなかったが、大型艇の大会運営専門

家も配置すべきであったと思う。プロテスト委員会は 3 カ国から各 1 名にて構成された。親善レースという性格もあってか救済の要求が 1 件あったのみであった。

5、コース等

一般参加艇クラスはトライアングルコース(スタート・上・サイド・下フィニッシュ)、ft10 クラスはソーセージコース(スタート・上・下ノゲート・上・下フィニッシュ)で、27 日はスタートラインから上マークまでは約 0.7 マイル、29 日は約 0.5 マイルであった。潮流は最大で 2 ノット、風速は 4~10 ノットに終始した。

6、規則

通常と変わったところは、RRS 第 2 章の規則違反が 1 回転とされたこと、予告信号の 5 分前に赤旗が掲揚され 5 分間展開することが帆走指示書で規定されていた。

7、レース成績

エスメラルダチームが、プラクティスレースと 4 回のレースともトップフィニッシュと完勝した。のふぞチームは、2 位の韓国チームと同点であったが規定により 3 位となった。きねきねチームは 4 位であった。(別紙成績表参照)

8、参加料

基本的には日本~中国間の航空運賃以外については主催者側(中国ヨット協会、日照市)が中国国内移動費・宿泊費・食費・チャーター料等全て負担するという事で、参加料 1,000 中国人民元(RMB) 約 16,000 円 のみ負担するというものであった。(最終的にはこれも返却された)

9、その他

中国側はこういった大会を将来は 3 カ国の持ち回りで開催していきたいという希望を持っており、その協議のためにも日本、韓国に連盟 VIP の派遣を求めている。

JSAF からは児玉常務理事、韓国セーリング連盟からは副会長、常務理事、事務局局長、ソウルヨット協会副会長、釜山ヨット協会副会長等が参加し、中国ヨット協会の事実上のトップであるリーシャンハイ中国水上スポーツ連盟副会長、レース担当理事等と今後の本大会の継続・発展について話し合いが行われた。

10、番外

本大会の来賓として国際 470 クラス協会会長夫妻が招待されており、期間中に児玉常務理事等とも将来のアジアの艇種等について意見の交換が行われた。

11、御礼

本大会への参加については、青島日本人会の副会長で三菱商事(青島)株式会社社長の飛坂有三様に日本チーム通訳の手配その他大変お世話になりました。

(平成 20 年 7 月 3 日記)

(別表)

日本セーリング連盟選手団役員

団 長	児玉 萬平	JSAF 常務理事
チームリーダー	植松 眞	JSAF 評議員 / 日本 IRC クラスオーナー協会会長
調整員	柴沼 克己	JSAF 理事 / 兼・大会ジャッジ
通 訳	馬后涛(マー・チート)	青島市邦友帆船クラブ

日本セーリング連盟選手団チーム

エスメラルダ	きねきね	のふーぞ
* 植松 眞	* 小林 広典	* 高畑 慎次
平井 淳一	小林 佳代子	森 敏貢
荒川 海彦	東島 和幸	宮田 猛
伊藝 徳雄	友田 栄三	村島 伸児
田口 裕介	相本 聡洋	橋爪 健
吉田 学	周 同	後藤 論子

* : チームキャプテン

成績表

チーム名	国	Race 1	Race 2	Race 3	Race 4	合計	得点	順位
エスメラルダ	日本	1	1	1	1	4	3	1
Winave	韓国	3	2	3	2	10	7	2
のふーぞ	日本	2	3	2	3	10	7	3
きねきね	日本	5	5	4	4	18	13	4
アモイ	中国	4	6	6	6	22	16	5
中国ヨット協会	中国	8	4	5	7	24	16	6
Naiad	韓国	7	7	7	5	26	19	7
青島航海学校	中国	6	DNF	8	8	33	22	8
Lan	韓国	9	DNF	9	9	38	27	9
国立海洋局	中国	10	DNF	DNF	DNF	43	32	10